

# ■ 今後の組織のあり方検討の考え方について

## 帯広畜産大学整備拡充促進期成会 (13 団体)

### ● 本期成会の趣旨

帯広畜産大学の整備・拡充を進めることは、地域産業に必要な人材育成はもとより、地域の産業振興や活性化に大きく貢献することに繋がることから、地域として、整備・拡充に資する支援を行っていく。

### ● 地域と大学との連携事例視察 ※H20以降は、主に地域と地元大学との連携等に係る視察を実施。

- H20 岩手大学（地域と大学の連携事例）⇒ 盛岡市産学官連携研究センター
- H21 群馬地域（産学官連携拠点の形成）
- H22 ノーステック財団（産学官連携事例）
- H23 富山県立大学 ⇒ 地域連携センター  
マディソン視察 …………… 帯広畜産大学関係者参加

- H24 岩手県盛岡市・花巻市【まちづくり会議との合同視察、畜大関係者参加】  
オランダ視察 …………… 畜大関係者、まちづくり会議メンバー参加
- H25 三重県視察（企業との連携事例）【まちづくり会議との合同視察】

※特に、H24以降は本期成会と十勝高等教育まちづくり会議との合同による視察を実施したほか、畜大関係者とも一緒に視察を行っている。

### <主な取り組み>

- ◎ 整備・拡充に関する要望活動
- ◎ 地域との連携による整備・拡充(産学官連携)

## 十勝高等教育まちづくり会議 (60 団体・個人)

### ● まちづくり会議の趣旨

帯広畜産大学を中心に、地域の特性・優位性を活かし、まちづくりと連動させながら、段階的に高等教育機関の整備を進める。

### ● まちづくり会議の経過

- ～H21 公私協力方式に基づく大学誘致に向けた取り組み…大学訪問など
- H22 大学に関する取り組みの方向性検討
- H23 方針転換（地域発展に必要な高等教育機関等の整備、充実）

- H24 十勝高等教育まちづくり会議へ改組
- H24・25 専門部会による今後の方向性検討

### <今後の方向性> …… 参考資料

- ①畜大を中心に多様な連携・交流が進み、人や企業が集積する拠点形成に向けた環境づくりに取り組む
- ②地域と大学との連携の方向性を整理し、その推進のための組織のあり方を検討

## 連携

取り組みの方向性が一致  
(産学官連携、畜大拠点形成)

## 平成 26 年度の本期成会の取り組み

本期成会の目的である帯広畜産大学の整備拡充をより前進させるため、地域と帯広畜産大学との連携を核に進めるまちづくり会議と、さらに連携を密にし、一体的に取り組んでいくことが、国等への整備拡充要望や地域との連携活動などの強化につながるもの。こうした考えのもと、平成 26 年度には、今後の取り組みの方向性と、それを推進するための組織のあり方の検討を行うもの。